

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0102010607010301	事務事業名	財政計画事務	担当部	総務部		
				担当課	財政課		
政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり		グループ	財政G		
施策名	01	健全な財政運営の推進		電話番号	64-0917		
基本事業名	03	歳入に見合った予算編成と適正執行		内線番号	1323		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	02 総務費			根拠法令・条例等	地方財政法、地方公共団体の財政の健全化に関する法律 外	
	項	01 総務管理費					
	目	06 財政管理費					
評価区分	簡易評価	評価対象		関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

社会経済の環境の変化を直視しつつ、時代の要請に応えるため、計画行政を推進し、同時に効率的な財政運営を図るため、財政計画を作成する。

- 経営健全化計画の策定及び進捗管理(見直し含む)
- 経営健全化計画の予算への反映

(参考)
 平成18年度(平成18年 8月):霧島市経営健全化計画(第1次)策定
 平成22年度(平成23年 3月):霧島市経営健全化計画(第2次)策定
 平成26年度(平成26年12月):霧島市経営健全化計画(第2次)改定

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 霧島市経営健全化計画策定または改訂回数	回	0	0	1	0	0
イ 予算編成回数	回	11	8	9	5	5
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市の財政状況							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 健全な財政を構築する							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 歳入に見合った予算の編成と予算執行							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成19年6月には、地方公共団体の財政の健全化に関する法律が施行されるなど、健全な財政運営の推進は地方公共団体にとって喫緊の課題となっている。
 また、厳しい財政状況等も踏まえ、今後も効率的で持続可能な財政運営が求められる。

4. 事業費の推移

投入量	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0
	県支出金	千円			0	0
	地方債	千円			0	0
	その他	千円			0	0
	一般財源	千円			2,187	1,949
事業費	千円	0	0	2,187	1,949	1,949

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

<ol style="list-style-type: none"> 新市まちづくり計画の財政計画を見直し。 霧島市歳入歳出対策本部会議を2回開催。 霧島市地域審議会において7回(地域)説明。 当初予算編成1回、補正予算編成8回。 	霧島市経営健全化計画(第2次)改定版策定。
---	-----------------------

事務事業コード	0102010607010301	事務事業名	財政計画事務	担当部	総務部
				担当課	財政課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	当該事務事業に係る事業費は、書籍等の追録(消耗品費)財務諸表作成業務委託(委託料)等が主であり、削減は難しい。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	財政健全化計画は、職員自らが策定(改訂)する必要があり、従事人数も主担当1名と最少人数で行っているため、削減の見込みは少ない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 <>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	昨年度改定した霧島市経営健全化計画(第2次)改定に沿った効率的な行財政運営に努める。 また、平成28年度決算の公会計の公表に向けた統一的な基準による財務書類等の作成に向け取り組む。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	霧島市経営健全化計画(第2次)改定の目標値に沿った適正な行財政運営に努める。 また、平成28年度決算の公会計の公表に向けた統一的な基準による財務書類等の作成に向け取り組む。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

事務事業 コード	0102010607010301	事務 事業名	財政計画事務	担当部	総務部
				担当課	財政課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報 酬			
2	給 料			
3	職 員 手 当 等			
4	共 済 費			
5	災 害 補 償 費			
7	賃 金			
8	報 償 費	0	0	
9	旅 費	67	99	99
10	交 際 費			
11	需 用 費	196	205	205
	消耗品費	196	205	205
	燃 料 費			
	食 糧 費			
	印刷製本費	0	0	
	光 熱 水 費			
	修 繕 料			
	贈 材 料 費			
	飼 料 費			
	医 薬 材 料 費			
12	役 務 費	0	0	0
	通信運搬費	0	0	
	広 告 料			
	手 数 料			
	保 険 料			
13	委 託 料	1,884	1,605	1,605
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原 材 料 費			
17	公有財産購入費			
18	備 品 購 入 費			
19	負担金補助及び交付金	40	40	40
20	扶 助 費			
21	貸 付 金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積 立 金			
26	寄 附 金			
27	公 課 費			
28	繰 出 金			
計		2,187	1,949	1,949
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	そ の 他	0	0	
	一 般 財 源	2,187	1,949	1,949
計		2,187	1,949	1,949
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	1,926
補正予算	2,500
補正第3号	2,500
流用・充用	591
予算合計	5,017

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
合 計		0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0102010607010302	事務事業名	市債管理事務	担当部	総務部		
				担当課	財政課		
政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり		グループ	財政グループ		
施策名	01	健全な財政運営の推進		電話番号	45-5111		
基本事業名	03	歳入に見合った予算編成と適正執行		内線番号	1324		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 不明) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	02 総務費			根拠法令・条例等		
	項	01 総務管理費					
	目	06 財政管理費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市経営健全化計画(第2次)改定		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 霧島市経営健全化計画(第2次)改定に基づき、過去に借り入れた市債の元利償還を行い、市債残高の縮減に努めると共に、歳入に見合った予算編成と適正な予算執行を行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 繰上償還を行った市債の額	千円	218,960	311,721	553,595	-	-
イ	千円					
ウ	千円					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市債残高							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 市債残高の縮減							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 歳入に見合った予算の編成と予算執行							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 市債の繰上償還や、市債発行額の抑制により、市債の年度末残高は毎年減少傾向にある。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			130	124	124
	事業費	千円	0	0	130	124	124
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度に行った市債繰上償還額 553,595千円 平成26年度末の市債残高 64,658,370千円 	繰上償還等を行ったことにより、平成26年度末の市債残高は、64,658,370千円となっており、前年度比で1,189,844千円縮減することができた。

事務事業コード	0102010607010302	事務事業名	市債管理事務	担当部	総務部
				担当課	財政課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
	<input type="checkbox"/> 結びついていない		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
C 効率性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
D 公平性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	過去に借り入れた市債の元利償還を行う事業であり、事業費の削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	過去に借り入れた市債の元利償還を行う事業であり、工夫により作業の簡略化が図れるものではない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	霧島市経営健全化計画(第2次)改定に基づき、引き続き市債残高の縮減及び適正な管理に努める。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	霧島市経営健全化計画(第2次)改定に基づき、引き続き市債残高の縮減及び適正な管理に努める。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性									
(2)総評									

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0102010607010303	事務事業名	地方交付税事務	担当部	総務部		
				担当課	財政課		
政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり		グループ	財政グループ		
施策名	01	健全な財政運営の推進		電話番号	45-5111		
基本事業名	03	歳入に見合った予算編成と適正執行		内線番号	1323		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 25 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	02 総務費			根拠法令・条例等	地方交付税法	
	項	01 総務管理費					
	目	06 財政管理費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

普通交付税の基準財政需要額及び基準財政収入額に関する基礎数値を算定し、財源不足額を交付申請する。特別な財政需要に関する調査の作成と報告を行い、特別交付税を交付申請する。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 普通交付税の測定単位の報告回数	回	59	69	75	80	85
イ 霧島市特有の財政事情の報告回数	回	23	28	30	35	40
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 標準的な行政サービスを提供する上での不足財源(普通交付税+臨時財政対策債)							
イ 霧島市特有の事業によって生じる需要額							
ウ							
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 標準的な行政サービスを提供する上での不足財源の確保							
イ 霧島市の特有な事業によって生じる不足財源の確保							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 歳入に見合った予算の編成と予算執行							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

地方交付税制度の発足により(昭和25年)開始。算定方法が複雑、多岐にわたり、報告しなければならぬ基礎数値が増加している。平成28年度から合併算定替えの段階的削減時期に入る。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			13	13	13
	事業費	千円	0	0	13	13	13

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
平成26年度は普通交付税の測定単位の報告を69回、特別交付税に係る霧島市特有の財政事情の報告を28回行った。	普通交付税14,915,729千円、特別交付税1,577,357千円(うち震災復興特別交付税142千円)、あわせて16,493,086千円が交付された。

事務事業コード	0102010607010303	事務事業名	地方交付税事務	担当部	総務部
				担当課	財政課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	「地方交付税のあらまし」、「地方交付税制度解説」など、業務を行うのに必要な関連書籍の購入等にかかる費用のみであり、削減余地はない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	関係課照会や財政課の各担当による積算等、交付申請に必要な事務のみを行っており、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	引き続き、効率的な交付申請事務を行う。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	引き続き、効率的な交付申請事務を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性									
(2)総評									

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0102010607010304	事務事業名	予算編成・執行管理事務	担当部	総務部		
				担当課	財政課		
政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり		グループ	財政グループ		
施策名	01	健全な財政運営の推進		電話番号	45-5111		
基本事業名	03	歳入に見合った予算編成と適正執行		内線番号	1324		
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)			
	款	02 総務費		根拠法令・条例等			
	項	01 総務管理費					
	目	06 財政管理費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

国の基本方針、県の予算編成方針等に基づき予算編成方針を策定するとともに、「霧島市行政改革大綱」、「霧島市集中改革プラン」、「霧島市経営健全計画(第2次)改定」との整合性のある予算編成を行う。
 また、予算執行計画に基づいた予算執行を行う。
 ①毎年度予算編成方針を定め、その予算編成方針に基づき予算見積書を徴あい、提出された予算見積書に基づきヒアリング、査定、必要な調整を行い、当初予算を議会へ提案する。
 ②当初予算に変更が生じた場合は上記により補正予算を編成し議会へ提案する。
 ③執行管理に当たっては予算執行計画を徴し執行管理を行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 当初予算額	億円	537	530	546	551	538
イ 補正予算額	億円	40	53	44	0	0
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 各部等の予算要求額							
イ 一般財源総額							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 自ら必要性と優先度を判断する							
イ 年間見込まれる収入額の範囲内で予算編成を行う。							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 歳入に見合った予算の編成と予算執行							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

予算編成における職員の時間外勤務時間数について、議会から指摘を受けた。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			1,318	1,346	1,346
	事業費	千円	0	0	1,318	1,346	1,346

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【予算規模】 当初予算額:546億2,000万円 補正(8号)後予算額:590億7,071万円</p> <p>【予算書印刷業務】 予算書印刷委託費:1,306,800円(250冊)</p>	<p>予算執行においては、引き続き、執行手続きの厳格化、執行内容の精査に努めた。 予算規模の適正化については、当初予算編成において各種事務事業の抜本的見直し等を行ったものの消費税率引上げに対する国の給付制度への対応や喫緊の課題に対する対応が必要であったことなどにより、経営健全化計画に掲げる目標を達成できなかった。 また、当初予算成立後に緊急の課題等に対応する必要が生じたために、補正予算を編成した。</p>

事務事業コード	0102010607010304	事務事業名	予算編成・執行管理事務	担当部	総務部
				担当課	財政課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
	<input type="checkbox"/> 結びついていない		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
C 効率性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
D 公平性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	予算書をデータ化することで、予算書の配布先、配布数を見直し予算書の印刷部数を減らすことができます。	
	<input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる		
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	予算査定期間や査定方法を見直すことで業務時間数を減らすことができます。	
	<input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる		
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 <>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	職員の時間外勤務を縮減するため、当初予算の査定方法を改善する必要がある。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	平成27年度に引き続き、職員の時間外勤務を縮減するため、当初予算の査定方法を改善する必要がある。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

